

令和5年度 福井県立若狭高等学校(全日制)スクールプラン

業務改善のための取組	人権教育の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・出勤時間調査システムを利用し、超過勤務の削減に努める。 ・デジタル採点やロイノート、Google Classroom等の活用を通して業務効率化を推進。 ・部活動休養日の遵守。協同管理による部活動の運営、主顧問・副顧問の役割分担。 ・年休取得促進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の向上をはかり、相互に個人として尊重する態度を養う。 ・差別をなくすために真剣に努力する態度を養う。 ・感謝の気持ちを大切に、全体のWell-beingの実現をはかる。

重点目標

教育課程・学習支援	PTA・同窓会・地域との連携・式典統括・環境整備	図書・情報等の管理と発信	生徒のキャリアサポート	探究的な学習の推進	自主・自立の精神、自他の敬愛と協力の精神の育成	保健管理・教育相談	各部署・各学科・各学年との連携によるきめ細かな生徒支援
教務部	庶務部	図書情報センター	キャリアサポートセンター	SSH・研究部	生徒支援部	保健部	学年会
①カリキュラムの開発および管理と教育効果の検証 ②教職員の教科指導力および授業力の向上 ③生徒の学習意欲の喚起と学力の向上	①PTA・同窓会・地域住民との連携による「開かれた学校」づくり ②入学式、卒業式、周年行事等式典の統括 ③教室・職員室の配置等の環境整備	①ICT教育環境整備 ②校内外への情報発信 ③図書の管理・読書活動の推進 ④各種データ収集 ⑤研究誌等の編集	①「自分の動詞」を見つける支援への転換(やりたいこと重視) ②全校体制での進路支援の確立(コミュニティの形成) ③数値に基づいた指導の徹底(デジタルデータの活用)	①「楽しくなければ探究じゃない」をスローガンとし、探究的な学習の充実による生徒の課題発見能力の育成 ②SSH・国内外の高校・大学等との連携によるカリキュラム開発と評価方法の研究開発 ③教科「探究」の研修会・若手指導力向上塾等を通じた教員コミュニティ形成	①自尊心・愛他心の育成 ②自律心と規範意識の醸成 ③生徒会活動の推進 ボランティア活動の推進 部活動の推進	①生徒の健康や体力増進に対する意識の向上 ②学習環境の整備 ③清掃等に自主的に取り組む姿勢の育成 ④校内各部署・各学年会や外部専門機関との連携による、悩みや問題を抱えた生徒への迅速かつ適切な対応	①生徒相互・生徒と教員の信頼関係に基づく安心で安全なクラス・学年の運営 ②各部署・各学科・各学年会・各教科との連携による生徒のキャリア発達・キャリア形成キャリア実現の支援 ③保護者との綿密な情報交換による信頼関係の構築 ④担任・副担任団全員によるきめ細かな生徒支援

具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組	具体的取組
①生徒の生活実態や学習状況を把握し、計画的・継続的な学習ができるよう指導する。 目標 計画的な家庭学習が実行できた生徒 80%以上 ②公開授業や教科会などでの研修・研究を充実させ、生徒が主体的に学べる授業実践に努め、授業力向上を目指す。 目標 主体的な学びを促進する授業実践 80%以上	①PTA総会、各委員会活動、同窓会総会などの場で積極的な広報を心がげ意見交換の充実に努める。 目標 PTA総会、保護者懇談会などPTA活動における満足度80%以上 ②感染症対策に配慮した式典の運営に努める。 目標 簡略化した式典の準備・進行を行う。 ③安全で快適な学校生活のため施設設備の整備点検に努める。 目標 毎月安全点検を実施する。	①図書を含めたあらゆるメディアを対象とし、探索・収集・分析・利用するスキルを身につけられる環境を提供する。 ②HPの充実を図ると共に、ツイッターを活用する。 ③読書案内や新刊図書の情報を充実させ、図書室の利用者数の増加を図る。 目標 生徒の読書案内等の利用率 80%以上 ④蔵書数や内容を充実させ、生徒の図書利用を促進する。 目標 生徒の蔵書満足度 80%以上	①「自分の動詞」を志望に結びつけ、進路実現に向けての面談や関連行事を充実させ一人ひとりの進路支援に努める。 目標 志望分野への進路実現ができた生徒 90%以上 ②学習及び進路指導の個別最適化を図るために担任と科目担当者、教科会の連携の機会、研修会の実施と支援に努める。 目標 入試制度に関する理解と対策について理解を深めることができた生徒 90%以上 ③入学試験や就職選考試験を分析し、データに基づいて、方を計画実施する。 目標 調査・模擬試験等を見直し、弱点克服につなげることができた生徒 90%以上 ④①～③実施にあたり教員および生徒の対話能力の向上を他部署と研修を計画実施する。 目標 研修会実施年3回以上	①教科「探究」に関する授業研究を組織的に行うために、「探究」の各科目のリーダーと探究科主任が定期的に打ち合わせを行う。 ②教科「探究」に関する授業力の向上を図るため、各科目内の授業担当者が定期的に打ち合わせを行い、授業のあり方について研究を深める。 ③教科「探究」に関する研修会等により、担当者の授業力を向上させるとともに教員間のコミュニティを形成する。 目標 教科「探究」にて課題発見能力を獲得したと認められる生徒が80%以上	①各活動において、多様性の大切さを理解させることに努め、思いやりや助け合いの精神、その実践力を育成する。 目標 差別やいじめなど、心身を傷つけるような案件の発生を限りなくゼロに近づける。 ②8時20分までに教室に入ること奨励し、5分前行動を習慣づける。 目標 不注意による遅刻がゼロの生徒 90%以上を目指す。 ③特別活動の推進と充実に努める。 目標 生徒会行事・部活動への積極的な参加や取り組みができた生徒 90%以上を目指す。	①検診結果をもとに自己の健康状態を把握させ、日常的に生徒自ら健康管理ができるよう努める。 目標 生徒の健康管理・体力増進に対する意識向上率80%以上 ②③時間いっぱい清掃に取り組ませるとともに、教室や身の回りの整理整頓、ごみの分別など環境整備に努める。 目標 生徒の自主的・積極的な清掃取り組み率80%以上	①担任が方針を明確にし、生徒が協働して活動できる学習環境を整える。 目標 生徒が協働して活動できるLTを実施 80%以上 ②キャリア実現に向け、3年間を見据えた計画・実施・再検討を各学年団で共有する。 目標 進路研修や進路LTを通して、自身の進路について考えを深めることができた生徒 80%以上 ③日頃の保護者連絡および保護者会での情報共有を密にし、地域や保護者へ教育内容を分かりやすく提示する。 目標 保護者会の満足度 80%以上